

(4) 年生 キャリア教育単元計画

教科	国語科
単元名	伝統工芸のよさを伝えよう
関連する教科	社会科
単元目標	自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。
連携した企業	カイハラ(株)
出前授業の実施内容	○地元で伝わる伝統工芸の備後緋についての講義。 ○カイハラ(株)の歴史についての講義。

キャリア教育の目標

自己理解力	自己表現力	チャレンジ&チェンジする力
自分の得意な事や夢中になれることを見つける。	自分の思いや考えをまとめて表現することができる。	困難なことに挑戦し、最後までやりきる。

キャリア教育のルーブリック

	自己理解力	自己表現力	チャレンジ&チェンジする力
A	・自分の得意なことや夢中になれることをより高める方法に気付いている。	・自分の思いや考えの中心が分かるように筋道を立てて表現している。	・自分の課題を見つけて挑戦している。 ・自分のできることを増やしている。
B	・自分の得意なことや夢中になれることを見つけている。	・自分の思いや考えを相手にわかるように表現している。	・困難なことに挑戦し、最後までやりきっている。
C	・自分の好きなことに気付いている。	・自分の思いや考えを持っている。 ・自分の思いや考えを表現している。	・困難なことに挑戦している。

評価規準

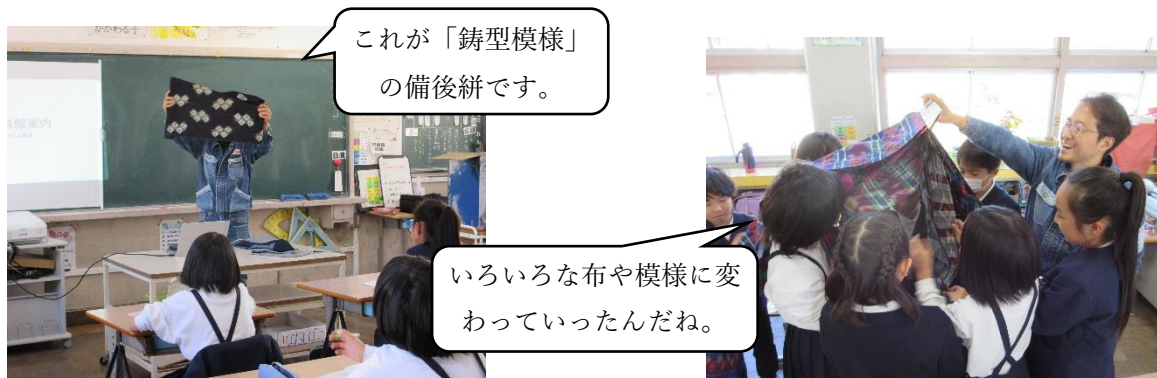
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。(2)イ 自理</p> <p>・幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(3)オ 自理</p>	<p>・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 自表</p> <p>・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。(C(1)ウ) 自表</p> <p>・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見つけている。(B(1)オ) 自表</p>	<p>・進んで中心となる語や文を見つけて、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係の書き表し方を工夫しようとし、学習の見通しをもって、調べて分かったことなどを整理して書こうとしている。チ</p>

活動計画

時	学習活動	キャリア教育の資質 能力向上の視点
1	地域の伝統工芸として備後絣があることを知り、伝統工芸に関心をもつ。 (出前授業：カイハラ(株))	
2	「世界にほこる和紙」を読み、おおまかな内容を捉える。	
3	段落を確かめ、文章全体の構成を捉える。	
4	「中」に述べられている、筆者の考えの理由となる二つのことを読み取る。	
5	「中」で、どのような例が何を説明するために述べられているかを読み取る。	
6	まとめりごとに中心となる語や文を考え、「世界にほこる和紙」を要約する。	
7	伝統工芸のよさをリーフレットにして伝えるためのリーフレット作りの見通しをもつ。	チャレンジ&チェンジする力
8	「百科事典での調べ方」を読み、百科事典の使い方を知る。	
9・10・11	自分が選んだ伝統工芸に関する本について、よさが書かれているところを中心に要約する。文に合った写真を見つける。	自己理解力 自己表現力
12・13	リーフレットの組み立てを考え、下書きをする。	自己表現力 チャレンジ&チェンジする力
14・15	レイアウトを工夫し、リーフレットを作る。	自己表現力
16	友達と読み合い、感想を伝え合う。	自己表現力
17	リーフレットで3年生に伝統工芸のよさを伝え、感想を聞く。 単元の学習を振り返る。	自己表現力

○出前授業での児童の様子

実際に初期の備後絣から外国へ輸出していた物、今作っているデニムを触らせていただいたことで、模様だけでなく手触りを感じ、説明されたことをより理解することができた。また、カイハラ(株)の歴史と合わせて話を聞くことで、自分たちの身近にあるデニムが、備後絣が進化してきた物であることを知り、備後絣や地元の企業カイハラ(株)をより身近に感じる事ができた。



○単元を終えての成果と課題

- ・出前授業で実際に備後絣に触らせていただいたことで、備後絣とはどのようなものか、そのよさを実感することができた。また、伝統工芸が人々の手によって形をそのままに大切に残されている物もあるが形を変えて残されている物もあることに気付くことができた。調べていくと、伝統工芸は身近にたくさんあり、それぞれに人々の思いやよさがあることを知ることができた。
- ・単元のどの位置で出前授業を仕組むことが、児童の思考が継続していくために有効なのかを考え、出前授業を行うことが必要である。他教科(本単元では社会科)との関連も考慮していかなければならない。また、出前授業から学んだことを企業の方にどのように返していくかもこれからの課題である。